

西... 録



愛國第五十三(大和)號の雄姿



昭和七年十月一日印刷 昭和七年十月五日發行 吉村賢治 帝國在郷軍人部 支店 吉村賢治

定價 部金壹圓五厘 廣告料 每月一回發行 一ヶ月六月十二月 分前全分前全分前金

愛國第五十三 (大和)號ノ性能

- 一、本機は主として晝夜に於ける制空及掩護に使用し機銃を以て空中戦闘を爲すものとす
二、本機は外方支柱を有する高翼式單葉の金屬製單座機にして主翼外面は羽布張なり
三、本機的主要諸元概ね次の如し

全 幅 約一〇米
全 長 約七米三〇〇
全 高 約三米一〇〇
主翼面積 約三〇平方米
全備重量 約一〇五〇〇
飛行性能
水平速度 三〇〇杆時以上
高度五千米へ上昇時間 約十分
使用發動機 ジュ式四五〇馬力
星型九氣筒空冷式

滿洲視察概況(承前)

滿洲視察員 中岡繁治郎

殊に外交的辭令の如きはとを有して居ては滿洲國の吏員も邦人の及ぶところではな

ある、夫れは生活に要する諸材料を勉めて滿洲に産するものから取ることであり、内地の米を食ひ(内地米を作らうとすれば可能性があるから研究して自分で作る)内地の味噌醬油にあらざれば不味などと云ふやうでは到底滿洲にて成功することを得ない、事實に於て滿洲の諸材料は生活上何等の不足はない、然るに内地品を賞用するは寧ろ贅澤と云ひうる、又將來滿洲に在るものは自ら働かすして支那人を雇ひ之に働かして己れは且那樣で生活しやうとする者が多い、此の風を改めて、必ず自ら商工業に従ひ努力奮闘の決心をせねばならぬ。

商業に巧なるは支那人の特性とも云ひ得る、又商業に關しては信用の篤つきも特性であらう特に薄利多賣主義で商業の要訣を得て居る、だから日本人には小賣で支那人と大刀打ちが出来さうに思はれない、或人の實験談によれば「最初は日本の商人だからと云ふて居る多くの在郷邦人が同情して日本店から物品を買つて居る、然るに支那人商人は一日に二度も御用聞きに来るやらの安いで遂に支那店のものを購ふやうになる、又支那製の豆腐は日本人の嗜好に適しないから少々高價でも日本人の作りしものを需むる、日本の商人は洋服に靴をはき金の吸口ある煙草をくわへ支那人に豆腐の箱を擔はせて賣りに来る、從つて價の高くなるのは當然である、其の後數ヶ月経て支那人が自ら賣りに来る、其の豆腐は全く日本製と同様でしかも廉價である、だから最早日本店のもは買はずして支那店のもを買ふようになる」と此等は支那人が豆腐に奉公し製造法を習ふて後自ら造るので畢竟支那人の勤勉性から居る、是れ皆支那人が勉強して日本獨特の技術を習得したのである、而して其の商賣は極めて薄利である、仕入れのとき箱に入りあるものゝ如きは小賣に際し全く元價にて賣り容器の箱を利潤として満足する如き有様である、然るに邦人の滿洲にあ

るものゝ中には贅澤の人が少なくない、衣食住共に華美である、從つて利潤を多くせざれば生活し得ざるに至るのである、故に將來滿洲に於て商業を営まんとするものは先づどの點に於て支那人と對抗し得るかを考慮し然る後着手せねば失敗に終る恐れがある、或は資本か或は仕入か將又節約勤勉か、何れかに於て彼等を凌ぎ得ることが必要である、然らざれば滿洲に於ける日本人の商業は日本向の宿屋と料理屋賤業婦のみに限られるやうになることを恐れるのである。

廣大なる土地であるから自然大農式となるであらうが、土地乾燥早きため米國式大農は不可にして日本式と滿洲式とを加味したもの、彼れ等の缺點は女子の働かさることである、從つて冬期室内に於て仕事に従事してゐるものが甚だ少い、此等を研究して一ヶ年間を通じて成るべく多數の者が働くようにすれば確に優勝の位置を占め得ることゝ信ぜられる。

我が國民たるもの深く思ひを致して共存共榮の實を擧ぐることを圖らねばならぬ、日支事變の動機及現在迄の状況、獨立後の滿洲の實狀、皇軍の威力と困苦在軍の活動在邦人の辛苦と努力、支那軍及匪賊の暴戾等に關しては遺憾ながら筆記説明困難の事情多々あり又日夜變化しつゝあり依つて口頭説明す。

滿洲國承認ニ對シ 聯合支部長祝電

今回滿洲國承認ニ對シ聯合支部長ヨリ本部會長ニ對シ左ノ如キ祝電ヲ發セラレシニ付貴支部下會員ニ此旨傳告セラレタシ

管下在郷軍人一同ヲ代表シ謹シテ滿洲國承認ヲ祝シ併セテ將來豫想スル國難ノ打開ニ邁進センコトヲ誓フ

本誌には修養、軍事、事業等を記載する外支都と聯合分會及分會との連絡に必要な事項が掲載してあるから役員持に分會長常務理事は必ず通讀するを必要とす



總理大臣及外務、陸軍、海軍、拓務各大臣ニ呈シタル祝辭

今次帝國政府方國家ニ從ヒ滿洲國ヲ承認セラレタルハ東洋平和ノ基礎ヲ確立シタルモノニシテ日滿兩國民ノ福祉期シテ待ツベク誠ニ慶祝ニ堪ヘズ...

鄭國務總理宛祝電

貴國承認ノ機ニ當リ三百萬會員ヲ代表シ執政閣下ニ對シ謹ンテ敬意ヲ表シ併セテ貴國永遠ノ御隆昌ヲ祈ル...

武藤全權大使宛祝電

滿洲國ノ承認成リ慶祝ニ堪ヘズ會員一同ヲ代表シテ祝電ヲ表シ併セテ今後ノ御隆昌ヲ期待ス...

滿洲事變勃發滿一年を顧みて 舉國一致軍民一體

皇國の使命達成に邁進を祈念 陸軍大臣 荒木貞夫

△滿洲事變勃發して茲に滿一たる公正の、仁愛のそして勇年を経過した。此間、同胞一斷の國民的精神は勃然として...

て其使命の道に邁進するとき幾千かの艱難は必然的に生ずるとしても、而も國際間の權謀は、結局、雲霧消し世界平和の確立に邁進せる帝國の行動は、總ては世界の感謝を受くべきや必定である。

誠實と熱心を以て 聖業の完成へ 荒木陸軍大臣談

本日滿洲國承認調印の報に接過去のし、日滿兩國及び東洋平和の爲め誠心誠意に堪へない、滿の消長と何等異なるものではない...

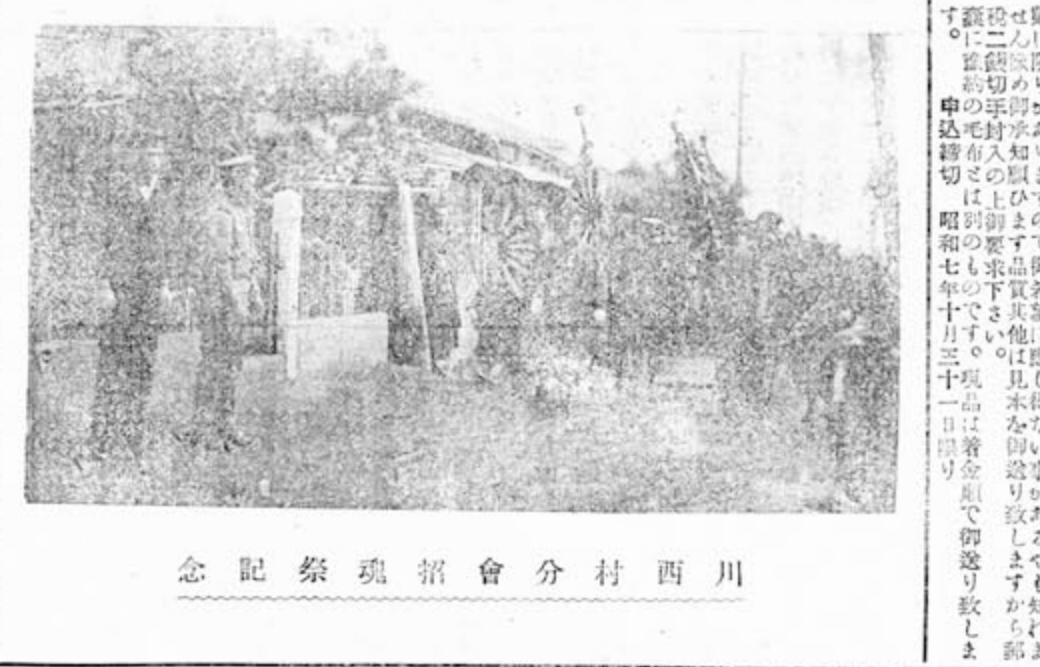
滿洲國承認！ 歴史の偉業こゝに成る

九月十五日日滿兩國は議定書を交して歴史の調印を終り茲に帝國は滿洲國を承認して善隣の國交を開始することとなつた。

千住製絨所特製毛布宣傳方依頼の件 昭和七年十月二日 帝國在郷軍人會本部紹介部

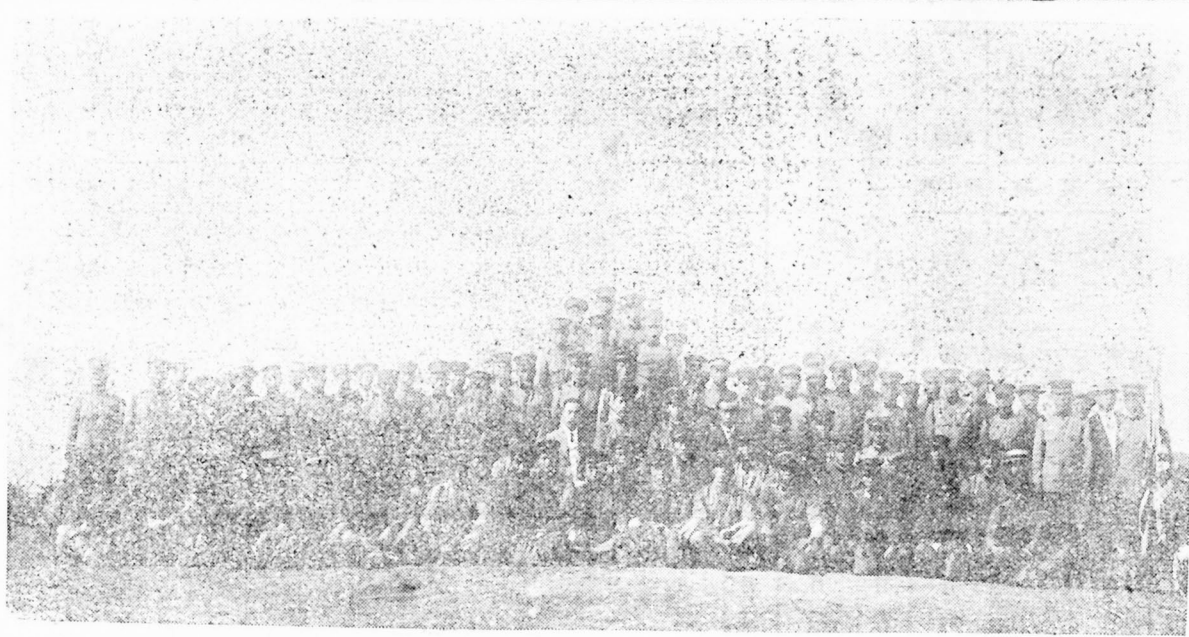
- 勳務演習應召者 中進級者氏名 工兵一等兵を命ぜらる 後備役工兵一等兵 坂堂寅太郎...

Table with columns: 取扱 (Order), 名 (Name), 寸法 (Dimensions), 数量 (Quantity), 格 (Grade), 内造 (Domestic), 海外 (Foreign). Lists various woolen goods and their specifications.



川西村分會招魂祭記念





念記祭魂招會分郷之上



分會の活動

宇陀郡 榛原町分會

七月一日同町分會は青年訓練所開設記念として榛原大軌停留場附近に於て青訓生と共に野外演習を実施せり。同月九日退營兵歓迎のため分會長以下役員榛原停留場に出迎へり。同月十六日同町宇陀高等女學校に於て同郡出身山邊誠一氏を講師として招聘し滿蒙事情講演會を開催せり。同月二十七日分會長會議のため吉岡分會長出席のため榎井町に出張せり八月八日同郡宇陀中學校に於て徴兵検査實施せら

政治村分會

八月二十日同村小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり午前中は未教育兵の豫習實施以下役員榛原停留場に出迎へ併し實施せり。

神戶村分會

四月十二日同村後場に於て大和號飛行機試飛金集募方に付協議せり。五月廿五日より向三日間に五り分會長は同村出身在營兵の慰問のため京都指標を設立し且又既設のもの

八月十八日吉野郡中龍門村小學校に於て簡閉點呼實施せらるるに於て吉岡分會長之れに出席す。同月九日室生村田口小學校に於て簡閉點呼實施せらるるに於て吉岡分會長及び前川理事出席せり。同月十一日同町小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。同月十二日同町小學校に於て簡閉點呼實施せらるるに於て分會長以下二十二名出動援助せり。

七月八日故後備陸軍砲兵少尉藤村公男氏の葬儀執行せられたるに付吉岡分會長以下會員此れに參列せり。同月十六日宇陀高等女學校に於て山邊誠一氏の滿蒙事情講演會開催せらるるに於て會員は聽講のため出席せり。同月二十七日榎井町榎井高等女學校に於て分會長會議實施せらるるに於て分會長以下會員此れに參列せり。八月七日吉岡分會長は徴兵検査見學のため宇陀中學校に出張せり。同月十二日高城小學校に於て簡閉點呼の豫習教育を実施せり。同月十九日分會事務所に於て役員會議開催。宮田分會長家事の都合上分會長の職を辭せられたるに於て福田弘少尉新任分會長に選舉せらるる點呼状況視察のため、分會副長・理事、青年訓練所指導員出張せり。同月十九日二十日の兩日午後八時より同村小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。

内牧村分會

八月四日同町役場に於て分會評議員會を開催し本年度簡閉點呼執行せらるるに於て之れが豫習教育を実施せり。

北葛城郡 聯合分會

八月一日同分會は郡内各町村分會より模範會員一名宛上申しめ當日賞状作製完了せしを以て賞品と共に簡閉點呼執行場に於て聯合分會長此れを授與せり。八月十五日同郡一團の現役軍人家族にして救護法による被救護者を本縣社會課に照會し金貳圓宛町村分會長をして各家族に傳達方通牒と共に交付したり。辻幸太郎外十五名八月五日同郡出身在營兵二五八名に對し慰問狀を發送せり。

高市郡 高取町分會

五月十二日同町役場に於て役員會を開催し凱旋軍人歡迎會開催に關し協議せり。六月五日同町小學校に於て凱旋軍人の歡迎會を開催せり。

阪合村分會

九月七日努力奉仕として同村各大字より阪合小學校に通ずる道路を在郷軍人及青年團との協力し歩道の修繕に従事せり。

南葛城郡 葛城村分會

八月二十九日同村小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。九月一日同村大字主要道路に指標を設立し且又既設のもの

吉野郡 小川村分會

七月三十日同村鶴宮口寶泉寺に於て同村在郷軍人分會春季總會を開催し本年三月十五日地鎮祭より約二ヶ月半を要し建設せる同村分會忠魂碑竣工し同日此れが除幕式を舉行するに到れり。當日同村出身在營兵四名ありたるため歓迎せり。七月十五日奈良市

下市町分會

八月一日午前九時同町分會事務所に於て分會班長會を開催し左記の件に就き協議せり。一、簡閉點呼に關する件。二、簡閉點呼に關する件。三、地方馬一齊調査に關する件。四、門標整理に關する件。

八月十七日同村分會射擊場に於て分會射擊競技會を開催せり。又同村林業學校に於ても武術競技會を開催せり。同月十八日滿蒙視察團に參列せる市町分會長榎谷義一氏を講師として同村小學校に於て講演會を開催せり。

八月十八日より八月二十一日に於て同町小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。八月二十二日分會事務所に於て分會班長會を開催し左記の件に就き協議せり。一、簡閉點呼に關する件。二、簡閉點呼に關する件。三、地方馬一齊調査に關する件。四、分會秋季總會に關する件。八月五日同町小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。九月十日秋季總會にかへ大阪港に旋泊中なる第一艦隊「日向」を見學すべく當日午前七時下市口驛を出發し午後五時無事歸郷せり。

下北山村分會

八月七日同村第三小學校に於て午前九時より簡閉點呼豫習教育を実施せり。當日同村婦人會は軍事後援として早朝より會場及點呼場に出動し接待其の他に關し援助を與へたり此の婦人會の活動に對し點呼執行官は謝詞を與へたり。

秋野村分會

八月十六日同村役場に於て分會評議員會を開催し左記事項に就き協議せり。一、十月一日戦死者の招魂祭並に滿洲事變戦死者の慰靈祭執行の件。二、滿洲事變戦死者の慰靈祭に關する件。三、十一月十五日御親閲の光榮に浴する参加者五名の選定の件。

奈良市 椿井分會

同分會は第八回朝起會を本年六月十九日より八月二十八日迄實施し毎朝午前五時より公園南大門前に於てラヂオ體操を実施せり。参加者壹千四百名ありたり。七月九日同分會より分會長以下此れを出迎へり。同月十七日同村役場に於て分會評議員會を開催した。

五ヶ谷村分會

八月十五日同村宇米谷氏神境内に於て簡閉點呼の豫習教育を実施せり。同日故巽光藏氏の墓前に於て佛式慰靈祭を舉行せり。

生駒郡 平城村分會

八月十七日同村宇中山の光明寺に於て同村出身者戦病歿死者の招魂祭を舉行せり。

片桐村分會

八月九日同村出身在營兵除隊の兩日同村小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。同月二十三日、二十四日同村役場に於て分會班長會を開催し簡閉點呼及び分會事務所に關し協議せり。

山邊郡 波多野村分會

七月廿四日同村分會事務所に於て分會評議員會を開催せり。

八月十六日より八月十八日に於て未教育補充兵臨時教育召集として八月十六日歩兵第三十八聯隊に召集し同隊に一泊翌十七日は兵營内に於て軍事教練を演練し同月十八日藤原陸軍射擊場に於て青訓合同實彈射擊大會を開催せり。自八月二十四日至八月二十六日三日間簡閉點呼豫習教育を実施せり。八月二十七日午前四時頃同町合同電氣郡山變電所出火し火災となりたる時分會幹部各員にて組織せる義勇隊救隊隊直に出動消火に盡力せり。同月六日より同月九日に至る二日間同町分會堂に於て分會幹部會を開催せり。

八月十日午後一時同村役場に於て分會評議員會を開催し左記事項に付協議せり。一、學校・庭擴張工事施行の件。二、軍隊宿營の調査に關する件。三、簡閉點呼豫習教育に關する件。同月十九日勅諭下賜五十年記念事業として同村修齊小學校・庭擴張工事に着手し午後六時終了。參列會員百二名。磯城郡 櫻井町分會。九月二日同村分會・議室に於て分會役員會を開催し左の事項に就き協議せり。一、大演習に關する件。二、滿洲事變一週年記念講演に關する件。三、御警衛及警備豫行に關する件。四、聯合分會射擊會準備に關する件。

法隆寺村分會

九月一日同村分會事務所に於て分會評議員會を開催し左の事項に就き協議せり。一、大演習に關する件。二、滿洲事變一週年記念講演に關する件。三、御警衛及警備豫行に關する件。四、聯合分會射擊會準備に關する件。

都跡村分會

自八月二十五日至八月二十六日二日間同村小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。

片桐村分會

八月十一日同村出身寺川惣一氏歩三八聯隊除隊歸郷するに際し分會長以下會員大和泉驛に出迎へたり。同月二十一日同村役場に於て分會班長會を開催し簡閉點呼及び分會事務所に關し協議せり。

初瀬町分會

九月十二日午後七時同町役場に於て分會役員會を開催せり。

田原本町分會

八月十八日同町役場に於て本年度受檢壯丁に對し徴兵検査時に於ける注意事項を與へたり。八月二十一日同町小學校に於て簡閉點呼豫習教育を實施せり。

朝和村分會

七月九日同村出身者歩兵第三十八聯隊を歸隊除隊するに於て同村分會長は出迎へのため奈良市へ出張せり。七月二十二日同分會事務所に於て分會評議員會を開催せり。九月四日分會長以下役員は同村出身戦病歿死者軍人の墓參會を舉行せり。

都介野村分會

吉田分會長は八月三十日丹波市町徴兵署に徴兵検査立會に出席せり。八月十二日吉田分會長は榛原町點呼場見學のため出張。同月十三日同村並松小學校に於て簡閉點呼豫習教育を実施せり。



七昭年度和 奈良聯隊區青年訓練所教練查閱日割表

Table with columns for dates, districts (第一區 to 第五區), and specific locations/schools. Includes names of officers like 坂本順, 小川地喜敬, 平川哲一, 青山三治.

在郷軍人の美譽

高市郡八木町出身在郷軍人砲兵上等兵上田熊治郎氏は本年...

在郷軍人善行ノ件通牒

戰砲兵第二十二聯隊第四中隊長 陸軍砲兵大尉 木村 竹治

陸軍御用達

各國時計 貴金屬 多賀時計店

奈良市下清水町 電話一〇九一番

登錄 陸海軍御用達



商標

清涼劑 福美丹 外優良賣藥 十數方製劑卸

高市郡寺岡市東野口 (丁十) 房藥やくふ

井澤式教練銃

三八式歩兵銃代用 所製部用元 陸軍省認定軍式教練銃

井澤銃砲製造所 所業營

滿洲上海 國事多難ノ秋 熱血進ル幾多ノ美談ヲ慕ル (井澤銃報詳載)